

国際比較で見る

STEM

理系女性のキャリアパス

日時 2018 **11.24 (土)** 13時~17時

場所 奈良女子大学 F棟5階 人間文化研究科大会議室

主催 国立大学法人奈良女子大学
 アジア・ジェンダー文化学研究センター / 理系女性教育開発共同機構
 共催 一般社団法人国立大学協会 / 奈良女子大学男女共同参画推進機構
 国立大学法人お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会 今岡 春樹 奈良女子大学学長 挨拶
-
- 13:10 **講演** *通訳・日本語配布資料あり
- **理系進路選択とジェンダー：日本の現状を中心として**
 河野 銀子 / 山形大学学術研究院教授
 - **STEM Education: Opportunity and Challenge for Women**
 Sri Peni Wastutiningsih / インドネシア・国立ガジャマダ大学
 - **Bridging the Gap from Secondary to Tertiary: Women's STEM Education at the Norwegian University of Science and Technology (NTNU)**
 Jennifer Branlat / ノルウェー科学技術大学・ジェンダー研究センター准教授
 - **Women in STEM in Norway: Promoting Gender Equality from within through Technology and Networking**
 Kristine Øygardslia / ノルウェー科学技術大学研究員
- 14:50 休憩
-
- 15:10 **コメント**
- 高岡 素子 / 神戸女学院大学人間科学部
 蔦 琳 / 大和ハウス工業株式会社
 加藤 美砂子 / お茶の水女子大学副学長・理系女性教育開発共同機構長
-
- 15:40 **ディスカッション**
- 寺内 かえで / 奈良女子大学理系女性教育開発共同機構
 清原 明華(数理科学科2年)・中村 恵 教諭 / 奈良市立一条高校
 曾谷 音真(2年生)・藤野 智美 教諭 / 奈良女子大学附属中等教育学校
- 16:50 閉会 小路田 泰直 奈良女子大学副学長 挨拶
- 17:00 終了
-
- 17:30 **情報交換会** ※情報交換会に参加をご希望の方は、アジア・ジェンダー文化学研究センターへ11月9日(金)までにご連絡ください。

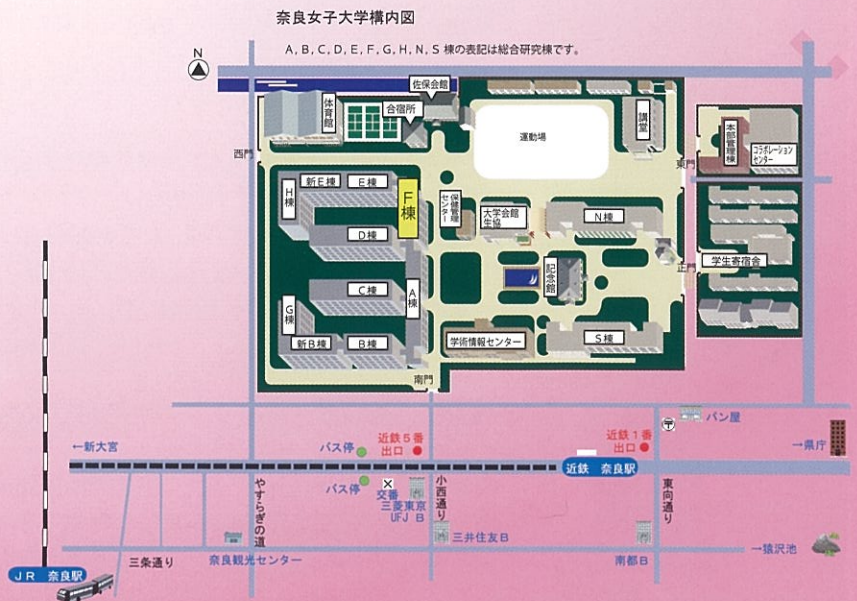
予約不要
参加無料

お問い合わせ 奈良女子大学
 アジア・ジェンダー
 文化学研究センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町
 Tel 0742-20-3611
 Mail a-gender.c@cc.nara-wu.ac.jp



フェスタ STEM
 国立大学2018



理系分野のことを略して、英語でSTEM(Science, Technology, Engineering & Mathematics)というこ
とばが使われます。どの国でもSTEM分野には女性より男性が多く、さらにジェンダー平等が実現されて
いる国ほど、STEM分野に進む女性が少ないという結果すらあります。STEMをめぐる議論は、学校教育、
進路選択、ジェンダー平等政策、テクノロジーと人間の関係などさまざまなことを想起させてくれます。こ
のシンポジウムでは、STEMをめぐる国際比較から、女性のキャリアパス、未来の社会のあり方まで多角
的な視点から議論を深め、国立女子大学が果たす役割を考えます。



河野 銀子 山形大学学術研究院 / 教授

教育社会学、「ジェンダーと科学技術」研究、教員のキャリア形成、高校と大学の接続などについて
研究。主な著書に『女性校長はなぜ増えないのか—管理職養成システム改革の課題』(2017年、勤
草書房)、『教育社会とジェンダー』(共著2018年、学文社)など。



Sri Peni Wastutiningsih ガジャマダ大学農学部農業社会経済学科 / 教育学習センター長

農業に関連するさまざまなテーマ「農村開発、社会変化、エンパワメント、地産地消」等に関心を
持っており、主なものに、「農家グループを活性化するための社会資本の役割」などの研究がある。



Jennifer Branlat ノルウェー科学技術大学 / ジェンダー研究センター准教授

ジェンダー理論、ジェンダーと教育、視覚メディアのジェンダーをテーマに研究。以前は、パリの
OECDにおいて、ジェンダーと持続的開発を担当していた。



Kristine Øygardslia ノルウェー科学技術大学 / 研究員

双方向メディアやテクノロジーを用いて、社会のダイバーシティや包摂を進めることをテーマに、
移民の生徒が社会に慣れるのにコンピューターゲームを用いること、小学校での学習にゲームの
デザインを用いること、職場の研修にヴァーチャル・リアリティを用いること等について研究。また、
コンピューターゲームがもつジェンダー化された側面について研究しつつ、ブロガーとしても活動。



高岡 素子 神戸女学院大学人間科学部 / 教授

専門分野は食品科学。室内環境が喘息およびアレルギーに及ぼす影響、乳酸菌の肌に対する影
響などについて研究。『新版 食べ物と健康[食品学総論]』(編著2016年、八千代出版)他多数。



蔣 琳 大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所 / 研究統括室研究企画グループ主任

奈良女子大学大学院修了後、大和ハウスに入社。住宅商品開発部門、海外ジョイントベンチャー部
門に携り、北京駐在員、経営企画部門を経て、現在は同社の総合技術研究所で研究業務の他、主
に産学連携、新卒採用を担当している。学会活動は岩崎琳という名前で活動。



加藤 美砂子 お茶の水女子大学副学長 / 理系女性教育開発共同機構長

中学・高校と生物部に所属し、生物学に強い関心を持つ。現在は、植物の秘密を解き明かすこと、
陸上植物と微細藻類を対象とした研究を行う。主な著書は、『代謝と生合成 30講』(共著 2011年
朝倉書店)『バイオサイエンス』(分担執筆、2007年オーム社)。